

第 13 回
社会福祉社会計簿記認定試験
解答用紙

上級（財務管理）

受験 番号		氏 名	解答例	得 点	100
----------	--	--------	-----	--------	-----

1

(1)	①	付 加 価 値 額
	②	年 間 平 均 従 事 者 数
	③	生 産 性
	④	人 件 費
	⑤	付 加 価 値 額
	⑥	生 産 性
	⑦	人 件 費
	⑧	サ ー ビ ス 活 動 収 益
	⑨	費 用 の 適 正 性
	⑩	固 定 資 産
	⑪	純 資 産
	⑫	固 定 負 債
	⑬	安 定 性

(2)	ア	固 定 化
	イ	固 定 資 産
	ウ	負 債
	エ	資 金
	オ	純 資 産
	カ	債 務 超 過
	キ	資 金 調 達
	ク	無 借 金
	ケ	貸 借 対 照 表

1	20
---	----

2

(1)	a 製品	1,820	個
	b 製品	2,201	個
	c 製品	1,500	個
	最大利益	368,697	円
(2)	損益分岐点販売収益	22,156,260	円
	生産・販売数量	4,458	個
	必要販売収益	25,302,270	円

2	20
---	----

3

(1)	1 か月の給食費	3,136,000	円
	1食当たりの給食費	668	円
(2)		12	分
(3)		3,357,450	円
(4)	(外部委託 ・ 現状の体制を維持)	するほうが	68,100,000 円有利である。

3	20
---	----

4

(1)	625	円
(2)	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> 受けた方が良い 受けない方が良い </div>	
	<p>今回の事業に関しては、既に投下した 840 万円は埋没原価であるので考慮する必要がない。受注しない場合と比較すると、この受注によって、8 年間で 136 万円の事業活動増減差額（資金収支差額）が増加するから。</p>	
	14,628	個
(3)	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> 受けた方が良い 受けない方が良い </div>	
	<p>受注しない場合と比較すると、この受注によって、5 年間で 57,500 円の事業活動増減差額（資金収支差額）が減少するから。</p>	
(4)	1,180	個

4	20
---	----

5

(1)

(ア)	人 件 費	3,174,600	千円
(イ)	借 入 金 利 息	16,500	千円
(ウ)	当期活動増減差額	157,940	千円

(2) D法人 要約貸借対照表
平成40年3月31日現在 (単位：千円)

現金預金	(50,000)	1年以内返済予定設備資金借入金	(0)
その他の流動資産	70,000	その他の流動負債	20,000
		設備資金借入金	(0)
土地 (基本財産)	200,000	その他の固定負債	10,000
建物 (基本財産)	(89,400)		
その他の固定資産	30,000	基本金	200,000
施設整備等積立資産	(79,000)	国庫補助金特別積立金	(62,580)
		施設整備等積立金	(79,000)
		次期繰越活動増減差額	(146,820)
資産の部合計	(518,400)	負債及び純資産の部合計	(518,400)

(3)

2,100

 千円

(4)

ア	減価償却	
イ	国庫補助金等特別積立金	
ウ	70,200	千円
エ	49,140	千円